

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	ふきのとう
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成26年1月25日	評価結果 市町村受理日	平成26年6月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=08739
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年3月6日	評価機関 決 済 日	平成26年6月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

都市化の進行と、自然豊かな環境を併せ持つ地域で、隣接地には医療法人の介護老人保健施設や保育園があります。リビングからは保育園の園児が毎日元気に過ごす様子が見え穏やかな家庭生活の延長のようです。保育園との交流事業もあり、楽しいひと時を過ごすこともできます。また関連施設には、病院や介護老人保健施設、介護老人福祉施設等の事業所も多くあり、希望に応じたサービスが提供できるようになっております。特に、医療法人からは、医療に関するバックアップや、認知症に関する専門治療も受けられます。グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。職員の定着率・学習意欲も協調性も優れております。系列のグループホームとは定期的な勉強会の開催により、知識の吸収や技能の向上に努めております。地域には多くの介護施設がありますが、地域の皆様には選ばれる施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は隣接する保育園の園庭を囲むように3棟が建設されており、どのユニットのリビングからも園児の遊ぶ姿が見ることができる。
中庭を挟んで自由に往来ができ、毎日のように交流するなど、活気がある和やかな環境となっている。
同一法人の系列では介護老人保健施設、短期入所介護施設、病院等を運営しており、医療や介護の面において利用者の健康状態に応じたサービスを提供できるシステムとなっているため、利用者や家族等の安心に繋がっている。
同一法人は複数のグループホームを運営しており、定期的に勉強会を開催するなど、職員同士が切磋琢磨し、災害時における利用者の誘導方法を記載した標示を居室のドアに掲示するなど、新たに知り得た知識等を事業所に取り入れ、ケアサービスの質の向上に日々努めている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内の、誰もが見える場所に、基本理念を掲示すると共に、朝礼で復唱し共有している・	地域密着型サービスの意義を踏まえ、できるだけ利用者が地域の一員として個々のニーズにそった暮らしができるよう個別的ケアサービスを提供することを理念の一つに掲げている。 外部評価後あらたに職員で話し合っ「里の目標」を設定し、職員の目に付き易い事務室や各ユニットの入り口に掲示している。 管理者と職員は会議時に理念を唱和したり、再確認をしながら実践に結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、地区内の小学校の運動会や文化祭に参加をしている。市の敬老会や、地域のお祭り参加をし交流を深めている・日曜日には道路の清掃作業などにより地域の一員となれるように努めています。	毎月第3日曜日に行う誕生会には手品や舞踊、歌などの地域のボランティアを受け入れており、地域の人たちとの交流に努めている。 毎年11月3日に行われる市主催の産業祭に、職員と利用者は一緒に出かけて催し物を観たり、買い物を楽しんだりして地域行事に参加している。 事業所は地区の自治会に加入し、地域の一員として認めてもらえるように、職員は毎週日曜日に事業所周辺の清掃活動を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や、介護相談員さん等を通じて、地域の方々の理解を頂き、介護相談等で地域貢献をしてまいります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1回開催しています。委員には、民生委員、学識経験者、ご家族代表者、行政、利用者で構成し意見の交換をしております。貴重なご意見を頂き、サービスの向上に努めております。	運営推進会議は利用者や家族等、民生委員、市担当者、学識経験者、職員で2ヶ月に1回奇数月に開催している。 運営推進会議では事業所の空き状況や利用者の状態を報告するだけに留まっており、積極的に意見を出す場とはなっていない。	運営推進会議が積極的な意見交換の場になるよう事前に議題を決めて話し合いを行うなど、更なる取り組みを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター職員との交流や、介護相談員さんの定期的な来所により情報の交換をしております。	管理者は介護更新認定申請などで市役所を訪れた際には、市担当者に空き状況を伝えたり、利用者の状態を報告するだけでなく、研修会や勉強会の情報を得ている。 月1回市の相談員が来訪した際には、利用者のケアの方法について相談している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の禁止になる具体的な行為を掲示し、正しい行為に努めております。緊急やむを得ない場合は、ご家族の同意を得ることにしています。玄関、サッシ等も危険と判断した場合を除き施錠しません。	身体拘束や行動制限を行わないことを契約書に明記するとともに、管理者は契約時に家族等に説明している。 玄関は施錠しておらず、安全性を考慮してセンサーを取り付け、人の出入りがわかるように配慮している。 昨年9月、10月にやむを得ず身体拘束を行う状況になり、管理者は家族等の了解のもとで拘束を行い、経過観察記録にその内容等を記載しているが、拘束をしないで済むような検討会議を開催したり、職員の研修を行うまでには至っていない。	定期的な職員の研修と身体拘束をしないで済むような話し合いの機会を設け、拘束に対する弊害とリスクについて正しく認識しておくことを提案する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に人権擁護を基本に、全職員で虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1明の利用者が、家族による成年後見制度を活用しております。職員は参加法人での講習会に参加し権利擁護に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に文書や口頭で説明し、納得の上での契約をして頂いております。また解約される時は、今後のサービスの利用法などを紹介しております。家族の方が納得した介護が受けられるよう協力しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	騎乗相談窓口と担当者を配置することや、第三者委員会の設置と外部苦情申し立て機関を設けています。ご家族の声を大切にするため、面会時等でご意見が言える雰囲気造りに努めています。	管理者や職員は利用者との日々の会話の中から意見や要望を聴いているほか、家族等の面会時に意見を聴く機会を設けている。事業所の玄関には意見箱を設置しているが、今まで投函実績はなく、積極的に意見を汲みあげ、運営に反映させるまでには至っていない。	意見箱への投函実績がないことから無記名の家族アンケートを実施したり、家族会などを開催して積極的に意見等を汲みあげ、運営に反映させる体制づくりを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や、ユニット毎の会議により、意見交換を行い、提案された意見の検討により、運営に反映しています。	管理者は毎月の職員会議やユニット会議の際に職員の意見や要望を聞く機会を設けている。室内の乾燥を防ぐため加湿器を購入したり、それでも補うことができない場合は、管理者の許可を得て濡れたタオルを廊下等に掛けておくなど、職員の意見等を汲みあげ、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定により職場環境や条件の整備に努めております。介護職員処遇改善交付金の活用により向上心が持てての就労や、研修会等への参加でスキルアップ努めております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人には、研修委員会が設置され、それぞれの段階に応じた研修会や、上級救命講習会が開催されており、施設内においても勤務しやすい職場環境づくりに努めております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着型介護サービス協議会への参加による意見交換会、法人参加の同業種との交流や学習会でサービスの向上に努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に施設見学をして頂くことや、自宅等で、本人やご家族との面談で、現状や困りごと等の把握に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の気持ちを思いやり、これまでの経緯や不安・要望を伺い、信頼関係を築けるように努めております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接時に、施設の概要やサービス内容を説明し、この施設で良いか、他のサービスを受けたほうが望ましいか判断をして頂き、他のサービスを望まれる場合は、他の関係機関と連携し他につなぐように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者の過去の生活から、経験や習慣等で学ぶことが多いであり、利用者も喜んで過去の経験を話してくれ信頼関係が深まってまいります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活状況は、里便りや近況報告をしております。また必要に応じて電話連絡をしております。面会時にも近況を伝えております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・外出・外泊も自由、入居前に通院していた病院の引き続いての利用など以前と変わらない関係で生活ができるよう支援しています。	職員はできる範囲で馴染みの商店や公園に同行しているが、遠方で同行が困難な場合は利用者の希望を家族等に伝え、協力を得ながら墓参りや理髪店などの外出のほか、自宅への外泊も支援している。 面会者の人数が多い時は、広い畳の談話室を利用してもらい、お茶を出すなどしてゆっくりと談話を楽しんでもらえるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、個別な関わり合いを見守り、そして支援することで孤立しないように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、病院等に入院・入所されても、施設訪問をし、相談事があれば相談に応じるようにしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者や家族関係者から、利用に至る経過を把握し、ケアプランに反映しています。困難な場合は、家族や職員で話し合い、本人の意向に近づけるように努めています。	職員は利用者と生活を共にする中、何気ない会話から利用者の思いや意向を把握している。 なかなか思いを表出できない利用者の場合、相手の気持ちになって考え、利用者の表情やしぐさから思いや意向の把握に努めている。 利用者から「日誌を書きたい」という要望があり、職員と一緒にホームセンターに出かけてノートなどの文具用品を購入するなど、できるだけ利用者のニーズにそった支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査をし、これまでの生活歴等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしく生活をして頂くことを基本に、アセスメントシートを作成し、心身の状況を記録し、現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議を開き、利用者・家族の意向や職員の考え方を踏まえ、現状に合った介護計画を作成しております。作成した介護計画は家族に説明をし同意を頂いております。	担当職員が把握した利用者の意見や要望のほか、家族等の意見を取り入れて作成した介護計画を職員会議で話し合い、さらに計画作成担当者が見直しをして個別的ニーズに合った介護計画を作成している。 毎月モニタリングを実施し、3ヶ月毎に介護計画を見直すとともに、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時モニタリングを実施して現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントシート、ケース記録は、各人ごとにファイリングしております。そのほかに申し送りを作成し、情報を共有し介護に活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その人らしく生活をして頂くことが基本です。法人傘下の事業所が多数あり、それらからの支援もいただけますので、柔軟なサービスが提供できていると思っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や、介護相談員との情報交換により、地域資源の活用に努めております。行政等との密な交流により地域資源の活用に努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を聞き、継続した医療が受けられるように支援しております。また希望に応じて、歯科・眼科の訪問診療が受けられるよう支援体制ができています。	管理者は入居時に利用者や家族等の意向を聴取し、希望するかかりつけ医への受診を支援するとともに、協力医療機関への受診も支援している。 希望する利用者には定期的な歯科や眼科の訪問診療を支援しており、受診結果は電話で家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置はありませんので、かかりつけ病院、協力病院と連絡しあいながら、日々の健康管理に努め、また受診しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日々の生活状況の説明、入院中は様子を伺いにマメに行き、本人、家族、医療機関と話し合いながら対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに関する指針を作成しておりますが、重度化や終末期は、家族の意思を尊重し、医療機関とも連携して対応します。	前年度の外部評価後に管理者は職員と話し合い、「看取りに関する指針」や「同意書」などの書類を整備したが、事業所に看護師が配置されていないため、現段階では看取りは行わない方針である。	今後様々なニーズに対応ができるよう、訪問看護ステーションや協力医療機関の看護師との連携を構築しておくことを提案する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人において、上級救命講習会を全職員が受講し、AEDの取り扱い技能を習得しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防署立会いの消火・通報・避難訓練と随時の通報・避難訓練をしております。災害時対応のため、食糧や飲料水を備蓄しております。地元消防団との協力関係が構築できるよう働きかけております。	年2回消防署立会いのもと総合訓練を実施するだけでなく、夜間を想定した事業所独自の避難訓練を定期的実施しているが、地域との連携を構築するまでには至っていない。 職員が研修会で得た知識を参考に、利用者の居室のドアの脇に災害時における誘導方法等が記載された標示物を掲示している。 災害に備えてラジオや電池、乾パン、粉粥、懐中電灯などを備蓄するとともに、備蓄品リストを作成して管理している。	運営推進会議に地元の消防団員や消防署の方たちにも参加してもらい、地域住民との連携や協力体制についての意見交換を行うなど、更なる取り組みを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーに配慮し、優しく接するようしております。個人情報の取り扱いについては、個人情報に関する指針に沿って、家族同意の下で記録は保管しております。	職員は利用者一人ひとりの生活歴や性格を把握したうえで、利用者一人ひとりに合った言葉かけや対応に努めている。 各ユニットの入り口に挨拶等の接遇に関する心得を掲示しており、職員が常に意識できるような環境整備を行っている。 利用者との契約書や重要事項説明書、アセスメント等の書類は、事務室の施錠ができるスチール棚に保管し、情報の漏洩に留意しながら管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が理解できるような話し方で、思いや希望が叶うように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人のペースで生活ができるよう、また本人がやりたい事ができるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい、身だしなみができるように支援しております。希望により訪問理容のサービスも受けられます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は同じテーブルで、会話をしながら召し上がっていただいております。また食べこぼし等のサポートはさりげなく行っております。	献立は同一法人の介護老人保健施設の栄養士が作成し、それを基に職員が利用者の健康状態に応じて刻み食やペースト状などの形態にし、食べ易くなるよう工夫して提供している。 花見などの行事の時や第3日曜日の誕生会で外出する際には、利用者の希望を取り入れた特別食を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立ができております。摂取量はアセスメントに記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後にうがいを進めております。出来ない方や、不十分な方には介助しております。入れ歯利用者は毎晩洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録や、アセスメントシートを活用し、個々の状況を把握し、時間やタイミングを見計らい、トイレ誘導をしております。オムツ利用者にもトイレ利用を促し、排泄の自立に向けた支援を行っております。	職員は排泄チェック表を基に、利用者一人ひとりのタイミングに応じた声かけやトイレ誘導を行ったり、リハビリパンツを使用したりしてトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 排泄の失敗が多い利用者には、職員がその人にあった生活のリズムを作ってあげて定期的にトイレ誘導を行い、失敗を最小限に抑えるよう努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足と運動不足にならないように配慮し、腹部マッサージなどの対応をしております。便秘が続く場合は、医師の指導による下剤の服用等、個々に応じた対応をしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の体調や希望に応じた入浴の支援をしております。入浴記録票を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。また入浴剤を活用し、気持ちよく入浴して頂くよう心がけております。	入浴は基本的に週2回から3回となっているが、利用者の希望にそって毎日の入浴を支援したり、健康状態に応じて清拭や足浴に変更するなど、柔軟な対応を心がけている。入浴を拒む利用者には、時間帯や職員を替えて声かけをしたり、「着替えをしますから」と声かけし、風呂場まで誘導したりするなど無理強いはいしないよう努めている。気の合った利用者同士と一緒に入浴するなど、入浴が利用者の楽しみとなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の馴染みのある家具などを使用して頂くなど、日常的に安定した穏やかな心身状態が保たれるような環境に配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は、病院から頂いた薬情書をもとにチェックしています。投薬ミスや飲み残しが無いように細心の注意を払い、服薬後の確認は2名の職員で行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴をもとに、能力に応じた役割などで、日常生活が楽しめるようにしております。日々のクラブ活動で、カラオケ・習字塗り絵など個々の趣味に応じた楽しみができるようにしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、散歩をするなど外気浴を行っております。季節ごとのお花見やドライブ、地域のお祭り等時節に合わせた行事に参加しております。	職員は利用者の希望を聴きながら各ユニット毎に年度計画を立て、偶数月にあじさい園や中央公園、海岸などに出かけており、利用者の楽しみとなっている。 天気の良い日には職員が利用者に寄り添い事業所内を散歩したり、ガーデンチェアを出してテラスで外気浴を楽しむなど、室内に閉じこもらないよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて、一緒に買い物することで対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要請で対応しております。自ら対応できない方は職員が代行しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	隣接している保育園の園庭を囲むように建物が3棟配置され、どのユニットのリビングからも園児が遊ぶ姿が見え、利用者の目を楽しませてくれます。また花壇には季節ごとに草花が栽培されております。リビングには利用者の写真や、クラブ活動の作品が展示されています。	居間や廊下の壁面には行事毎の写真や利用者が制作した季節の作品が飾られているほか、窓際にはソファやテレビ、観葉植物などが配置されており、居心地よく過ごせるように工夫をしている。 各ユニットそれぞれに畳の談話室があり、洗濯物をたたんだり、昼寝をしたりするなど、利用者が自由に過ごせて安心できるスペースとなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりがよく、園児の遊ぶ姿など外の風景がよく見えます。個室も自由に使用し、リビングにはテレビやソファが自由に使えるように配慮されております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談し、自宅で使用していたものを置くなど安心して生活ができるようにしております。その人らしい居室づくりに心掛けております	居室にはエアコンやベット、整理箆筒が備え付けられているが、ベットが嫌いな人にはフローリングに絨毯を敷いて布団で寝てもらったり、エアコンが嫌いな人には自分で炬燵や電気ヒーターを持ち込んでもらい、利用者が居心地よく過ごせるよう支援している。 利用者によっては携帯電話を持っていたり、テレビやビデオ、掃除機など使い慣れた品物を多数持ち込み、自宅との生活環境の変化を感じさせない居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーで、各所に手摺が設置されております。また利用者一人一人が自立した生活ができるよう配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム千代田の里

作成日 平成26年6月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の充実を	卒直な意見を頂き、サービスの向上を	事業者の取組や、課題を知り、話し合う機会に	直ちに
2	6	身体拘束をしないケアの実践	職員の研修	研修会の開催	直ちに
3	10	運営に関する利用者、家族の意見の反映	アンケート調査の実施	アンケート集計を参考に、独自に実施	1年以内に
4	35	災害対策	消防団との連携	消防署等と意見の交換を	直ちに
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。